



# 八中は今

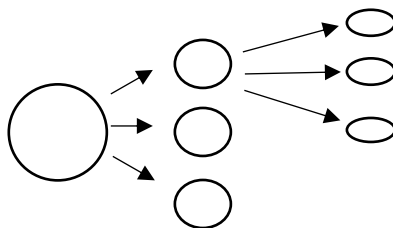
Pay it forward(ペイ・フォワード) ～次へ渡せ～ 校長 日置保次

素敵な映画を観ました。その話はアメリカのある中学校が舞台でした。中学1年生の社会科の最初の授業で、担当した社会科教師は、「世界をよりよいものに変える方法を考え、それを実行してみよう。」という課題を出しました。多くの生徒は、先生に対して、「変な課題です。」「こんな課題はおかしい。」「無理です。」「難しいです。」と不平不満を口にしました。**最初からあきらめている生徒ばかり**でした。

これに対して先生は言いました。「**可能の王国はいったいどこに存在しますか。それはあなたたちの頭の中にあるのです。あなたたちならきっとできます。不可能を可能にするのです。**」

こうした中、トレバー君が考えたのが、ペイ・フォワード「**自分が受けた善意や思いやりを、その相手に返すのではなく、別の3人に渡す**」というものでした。

1人が3人に何か善いことをします。善いことされた3人がまたそれぞれ3人に善いことをします。3人が9人に、9人が27人に、27人が81人に、81人が243人に…。このようにどんどん増えていって「**善意の連鎖が**」起きていきます。その結果、世界がよりよく変わるといのです。



八幡中学校では、1年間を「安心ステージ」「全力ステージ」「挑戦ステージ」「自立ステージ」の4期に分けています。10月10日からは「挑戦ステージ」が始まりました。この日には中間の式があり、各学年の代表者の話や後期生徒会役員の任命式がありました。それぞれの生徒に、後期に向けての目標や決意があり、それに向けて挑戦しようとする意気込みを感じました。

しかし、一人で挑戦するだけでは、目標達成とはなかなかありません。挑戦している仲間を支えたり、挑戦している自分が仲間から支えられたりしてこそ、目標達成に近づいていくと思います。不可能だとあきらめるのではなく、可能にしていくために、よりよいもの(言葉や行動)を仲間にペイ・フォワードすることが大切だと思うのです。



後期 生徒会役員

11月16日には合唱祭があります。合唱祭の取組は、ペイ・フォワードの絶好の機会です。私は次の3つのようなペイ・フォワードが生まれることを期待しています。

笑顔:

自分が仲間を支えれば、仲間が笑顔になります。仲間から支えてもらえば、自分が笑顔になります。そんな**笑顔のペイ・フォワード**が起きることを期待しています。

感謝:

「ありがとう」の言葉を伝えたり、伝えてもらったりすることは、取組や練習の中で支え合う姿があるということです。そんな**「ありがとう」のペイ・フォワード**が起きることを期待しています。

感動:

熱い想いを込めて取り組めたのかどうか大切にります。仲間の熱い想いを「**感**」じ、自分も真剣に「**動**」く。そんな**感動のペイ・フォワード**が起きることを期待しています。

### 1年生 長良川研修だより

<研修のテーマ> 「輝く」 ～すべての人が考え、やりきる～



1年生は、長良川に沿って（高鷲町、白鳥町、大和町、美並町）研修を行いました。  
大自然の中で、様々な活動に取り組む中で、郡上市のよさを体感すると共に、仲間の新たな一面を見つけることにもつながりました。  
初めての飯盒炊爨には四苦八苦しましたが、仲間と共にカレーライス作りに挑戦できました。  
こうした取組の中に、輝く姿（役割を果たす自分、支える仲間）が多くありました。

### 3年生 関西研修だより

<研修のテーマ> 「広げよう 自分と仲間の可能性」



3年生は、関西（神戸、大阪）で研修を行いました。  
人と防災未来センターでは、阪神大震災の事実から防災について学び、USJ講話からは「一流のサービス」について学びました。  
学級別研修では、大阪城、新聞社、科学館などに分かれて見聞を深めました。  
最終日はUSJでした。仲間と思いっきり楽しむことができました。

